

**注意！**

■この記事は発行年月日時点の内容のまま公開していますので、ご覧になった時点の法規制（農薬使用基準等）等に適合しなくなった内容を含む可能性がありますから、利用にあたってはご注意ください。

# 農作物技術情報 第3号 畜産

発行日 平成21年 5月28日  
発行 岩手県、岩手県農作物気象災害防止対策本部  
編集 中央農業改良普及センター 県域普及グループ（電話 019-688-5525）

携帯電話用 QR コード



「いわてアグリベンチャーネット」からご覧になれます  
パソコンからは「<http://i-agri.net>」 携帯電話からは「<http://i-agri.net/agri/i/>」

## 牧草

**増収を期待した遅刈りは、栄養価や刈取り後の生育に悪影響を及ぼします。  
適期刈り取りに努めましょう。また、調製方式に応じた水分含量となるように努めましょう。**

### 1. 牧草の生育と作業の状況

消雪が早く、4月上旬から中旬にかけて気温も高く推移したことからオーチャードグラスの出穂がやや平年よりも早まっています。また、1番草の刈り取り作業を開始した圃場も見られます。

### 2. 牧草の刈り取り適期

1番草は年間を通じて、質・量ともに年間を通じて最高・最大の収穫を期待できるため、この時期の収穫作業は重要です。

そこで注意したいのが刈取り時期です。

図は、オーチャードグラスにおける1番草の栄養価の推移を示したものです。

1番草では生育が進むと草丈が高くなり、これに伴って収量が増加しますが、繊維含量も増加します。反対に、出穂始めから葉部割合、蛋白質含量は急速に減少し、栄養価が低下します。また、消化率も低下し、嗜好性も悪くなります。

1番草の刈取りは収量を確保しつつ栄養価が高い時期、すなわち『出穂始めから出穂期』に行うことが適切です。

なお、早すぎる収穫では収量が十分確保できないうえに、刈取り後の再生に悪影響を及ぼすため、注意が必要です。

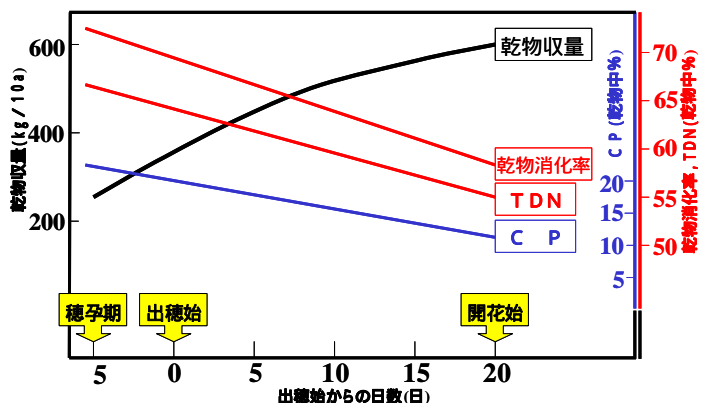


図 1番草収量・栄養価の時的推移(オーチャードグラス)

### 3. 牧草の刈取り高さ

牧草の刈取り高さは、再生力の強弱を決定する重要な要因です。

牧草は極端な低刈りでは、生長点が切除されるほか、同化作用を営む緑葉が刈り取られるとともに、貯蔵器官の一部が取り去られ貯蔵養分総量が少なくなるため、再生が悪くなります。

一方、高刈りの場合は、牧草の再生の面からは好都合となりますが、採草の観点からは収量が減少し、刈り残しによる損失が増大します。したがって、牧草の刈取り高さは、牧草の再生力と収量の両面を考慮して、地際から10cm程度が適当となります。

#### 4. 乾草の調製

高水分での梱包はカビの発生を増長し、品質低下を招きます。また、発熱の危険性が高いので、自然発火・くん炭化には特に注意が必要です。

2～3日天気が続くと予想される快晴の日に刈り取り、水分含量を一気に20%以下にすると、牧草の呼吸が止まって、糖、タンパク質、アミノ酸の損失が少なくなり、良質の乾草ができます。

#### 5. 草サイレージの調製

(1) 適期刈取りにより良質材料を調製します。出穂期の牧草は糖分含有量が多く、乳酸発酵しやすいためです。また、土砂の混入は変敗の原因となりますので気をつけましょう。

(2) サイレージ調製にあたっては、原料草を予乾して水分含量を低くして調製するのが基本です。予乾せずにサイレージを作ると、排汁が多くなって養分が失われ、更には不良発酵（酪酸発酵）の原因となります。

ロールベールサイレージは水分を50～60%弱に、タワーサイロやバンカーサイロ等では水分を65～70%に調整しましょう。

#### 6. 刈取り後の追肥

2番草の生育を促すため、刈取り後直ちに追肥を行いましょう。

施肥量は、10a当たり成分量で窒素5kg、リン酸2.5kg、カリ5kgとします。

**春の農作業安全月間実施中！**

急ぐより 家族の笑顔を大切に 想う心で ゆとりの仕事

**6月1日～8月31日は  
農薬危被害防止運動期間です**

近隣住民・周辺環境に配慮しましょう。  
農薬散布準備、作業中・後の事故に注意しましょう。  
農薬の保管・管理は適切にしましょう

次号は6月26日（金）発行の予定です。気象や作物の生育状況により号外を発行することがあります。発行時点での最新情報に基づき作成しております。発行日を確認のうえ、必ず最新情報をご利用下さい。